

# 市議団ニュース

第1881号

2018年7月1日

日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

# 6月定例会議会特集

根室市の6月定例会議会の初日（19日）、日本共産党の鈴木一彦議員と橋本竜一議員が一般質問を行いました。今週の市議団ニュースでは、両氏の一般質問の主な内容についてお知らせします。

鈴木一彦議員（5番目）に  
う首脳間の決意をあらためて感じたところであり、今回一致された具体的な施策が停滞なく実現するよう期待していると答えました。

## 一、領土問題について

鈴木議員は、5月26日に行われた21回目となる日口首脳会談に対し、元島民のみなさんを始め、多くの市民のみなさんが、領土問題が進展しなかったことに落胆している一方で、市長は一定の前進に評価と期待を表明している」と指摘。「返還運動原点の地」の市長として、今回の日口首脳会談に対する認識をあらためて問いました。

市長は、本会談においても領土問題の具体的な進展が見られなかったことは残念としつつも、国際情勢が非常に複雑さを増すなかにあつて、首脳間で合意された新しいアプローチを着実に実施することにより、平和条約締結につなげていくとい

市長は、結果を踏まえ、「子どもの貧困」解消に向けた効果的な取り組みをおこなうと答弁。  
鈴木議員は、生活保護費を削減し、国際比較で教育費が最低レベルの今の政治を抜本的に転換する必

要があると述べたうえで、市の対策を急ぎ進めることを求めました。

## 橋本竜一議員（6番目）に 登壇）

## 一、「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」について

市総合計画の政策目標である「互いに支え合い健やかに暮らせるまち」は、医療、福祉、子育て支援が包括されている分野です。橋本議員は、その具体的な施策について質問。生活困窮者等の住まいの安定に向けて、経済的な困難を抱えている方には、家賃問題などから住居を失うなどの実態が少なくなく、市内委は低家賃の民間借家はあるが空き家を探すことが難しい」と指摘。市としてこ

政策を連動させた総合的な取り組みが必要との認識を示し、庁内連携を図るとともに、他市の状況なども参考に検討していくと答えました。

障がい福祉の課題について橋本議員は、市内の障がい福祉サービスの充実・整備については、事業者の人材確保と財政面の課題が大きいことから、市がこれらの支援を行うことでさらなる事業化の促進を図られると提案。市長の見解を求めました。

市長は、障がい者福祉に寄与する事業者への支援策について、各自治体の事例などを参考に検討を進めるとともに、市内サービス事業者と連携を図り障がい者施策の更なる安定的他提供体制の構築に向けて取り組むと答えました。

以上紹介したほかに、鈴木議員は市立根室病院問題、橋本議員は地域交通の課題、市の財政問題について質問しています。

神忠志氏が全国市議会議長会より特別表彰



（本田議長・右から2番目より表彰状を受け取る神氏・右端）

日本共産党前市議会議長の神忠志氏（現党議員団調査員）が、全国市議会議長会において、議員活動40年に対する特別表彰を受けました。さる6月18日、根室市議会議長室で、本田俊治議長より表彰状が手渡されました。遠藤輝宣副議長（写真左端）、竹本勝哉議会議務局長（同左から2番目）が同席しました。なお、20年特別表彰として前議員の佐藤敏三、永洞均の両氏と現職の遠藤副議長も受賞されています。